

2024.01.27(土) 雪かき大変さ実感
～杜陵高生 西和賀でボラ体験【岩手日日】

雪かき大変さ実感

杜陵高生 西和賀でボラ体験

県立杜陵高校本校・奥州校の定時制、通信制の4課程の生徒は26日、生徒交流会で西和賀町を訪れ、雪かきボランティア「スノーバスターズ」の活動体験を通じて親睦を図った。

2024年度の同校創立100周年に向けた記念事業の一環で、初めての体験や新しい出会いを通して視野を広げ、地域との関わりを考えるのが狙い。住民のために直接活動する好例として、1人暮らしや高齢者世帯の除雪を担うスノーバスターズに挑戦した。

生徒会役員を中心とする生徒14人と職員らが参加し、町社会福祉協議会の案内で同町上野々の2世帯を訪問。力を合わせて軒下や玄関口の雪をスコップでか

き分けたり、スノーダンピングで運搬して流雪溝に投入したりと作業に精を出した。

奥州校通信制の小山愛生さん(18)は「自分の住んでいる地域とは雪の量が違う。雪かきは数年ぶり。みんなと一緒に作業し、この地域に住む人の大変さが分かった。困っている人の力になれたことがうれしい」。本校通信制の小保内康佑さん(18)は「固まった雪をスコップで切り、持って行く作業は重くて大変だったが、家の周りがすっきりしたので良かった。他の課程の生徒と交流することができてリフレッシュになった」と話していた。



スノーバスターズ活動に取り組む杜陵高校生徒交流会の参加者